

生活援助技術論 I (感染・環境・活動・食事の援助技術)

ナンバリング:N1-S1-C03

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、看護専門基礎講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義・演習/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

看護技術は、看護の専門知識に基づいて、看護の対象となる人の安全・安楽・自立を目指した行為であることを学ぶ。そして、看護実践に共通する感染予防・観察の技術など基本的な技術と療養生活を支援するための技術について、講義と演習を通して学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

実施する看護技術(感染・環境・活動・食事の援助技術)の原理・原則を理解し、援助実施の際には相手を尊重し、安全安楽な援助方法を考えて実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修(視聴覚教材の利用を含む)を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護と看護技術の関連性、実践するための知識・技術・態度について説明することができる。
2. 看護師がコミュニケーションの技術を用いて、看護実践を行う重要性を述べることができる。
3. 感染予防の意義、感染を成立させる要素と成立過程を説明できる。
4. スタンダードプリコーションとは何か述べるができる。
5. 手指衛生の方法、個人防護用具の使用方法を説明できる。
6. 感染予防対策としての手指衛生を実施できる。
7. 個人防護用具の着脱が実施できる。
8. 人間にとっての環境の意味と快適な環境をつくる方法について説明できる。
9. 患者と看護師の双方に負担をかけない姿勢と動作を説明できる。
10. 根拠に基づいたベッドメイキングが実施できる。
11. 根拠に基づいた臥床患者のシーツ交換が実施できる。
12. 活動・運動の意義と援助の目的について説明できる。
13. 運動機能の維持・回復のための援助を説明できる。
14. 体位変換の目的、方法、留意点について説明できる。
15. ボディメカニクスの原則に基づいた体位変換が実施できる。
16. 車椅子・ストレッチャーでの移動方法、留意点について説明できる。
17. 相手の反応を確認しながら、安全な移動の援助が実施できる。
18. 食事・栄養摂取の意義とそのしくみ、援助の目的を説明できる。
19. 経口摂取できる患者への食事介助の方法と留意点を説明できる。
20. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた食事介助および口腔ケアの実施ができる。
21. バイタルサイン(体温・脈拍・血圧・呼吸)を測定する意義と測定方法を説明できる。
22. バイタルサイン(体温・脈拍・血圧・呼吸)の測定を正確に実施できる。
23. 演習で経験する技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室、マルチ4-A講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
5/12 月 3限	<p>【授業内容】看護技術とは 看護技術に共通する要素 ・看護と看護技術の関連性、実践するための知識・技術・態度について説明することができる ・看護師がコミュニケーションの技術を用いて、看護実践を行う重要性を述べることができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修：25分】教科書 看護がみえるvol.1 基礎看護技術p2～15「看護技術に共通する要素」を読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
5/12 月 4限	<p>【授業内容】感染予防技術 ・感染予防の意義、感染を成立させる要素と成立過程を説明できる ・手指衛生の方法、個人防護用具の使用方法を説明できる ・スタンダードプリコーションとは何か述べる事ができる 【関連するSBO】3、4、5 【事前学修：25分】 ・教科書 看護がみえるvol.1 基礎看護技術p16～36「感染予防」「手指衛生」「個人防護用具」について読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
5/19 月 4限	<p>【授業内容】環境調整技術 ・人間にとっての環境の意味と快適な環境をつくる方法について説明できる 活動・休息援助技術 ・患者と看護師の双方に負担をかけない姿勢と動作を説明できる 【関連するSBO】8、9、15 【事前学修：25分】教科書 看護がみえるvol.1 基礎看護技術p56～88「環境調整」「ベッドメーカーキング」、p93～94「ボディメカニクス」を読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
5/30 金 1限	<p>【授業内容】活動・休息援助技術 ・活動・運動の意義と援助の目的について説明できる ・運動機能の維持・回復のための援助を説明できる ・体位変換の目的、方法、留意点について説明できる ・車椅子・ストレッチャーでの移動方法、留意点について説明できる 【関連するSBO】12、13、14、16 【事前学修：25分】教科書 看護がみえるvol.1 基礎看護技術p90～140「体位変換」「移動介助」を読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授
6/23 月 3限	<p>【授業内容】食事の援助技術 ・食事・栄養摂取の意義とそのしくみ、援助の目的を説明できる ・経口摂取できる患者への食事介助の方法と留意点を説明できる ・経口摂取以外の栄養摂取方法について挙げることができる 【関連するSBO】18、19、20 【事前学修：25分】教科書 看護がみえるvol.1 基礎看護技術p146～187「食事の援助」「食事介助」「口腔ケア」を読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
7/4 金 2限	<p>【授業内容】症状・生体機能管理技術(バイタルサイン) ・バイタルサイン(体温・脈拍・血圧・呼吸)を測定する意義と測定方法を説明できる。 【関連するSBO】21 【事前学修：25分】 ・看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント」p34～83バイタルサインについて読む 【事後学修：25分】講義資料を復習する</p>	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授

【演習】

5/16 金 4限	<p>【授業内容】感染予防技術(手指衛生)(個人防護用具の使用方法) ・感染予防対策としての手指衛生を実施できる ・個人防護用具の着脱が実施できる 【関連するSBO】6、7、23 【事前学修：25分】 ・事前に配布したチェックリストを読む ・教科書p27「速乾性アルコール消毒剤による手指消毒」、p28「石けんと流水による手洗い」の動画を視聴する 【事後学修：25分】演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する</p>	共通基盤看護学講座 菅蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
-----------------	---	---

5/26 月 3限	【授業内容】環境調整技術(ベッドメイキング) ・根拠に基づいたベッドメイキングができる 【関連するSBO】10、23 【事前学修:25分】・WebClassに提示された、臥床患者のシーツ交換の動画を視聴する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
5/26 月 4限	【授業内容】環境調整技術(臥床患者のシーツ交換) ・根拠に基づいた臥床患者のシーツ交換ができる 【関連するSBO】11、23 【事前学修:25分】・WebClassに提示された、臥床患者のシーツ交換の動画を視聴する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/2 月 3限	【授業内容】活動・休息援助技術(体位変換) ・ボデーメカニクスの原則に基づいた体位変換が実施できる 【関連するSBO】15、23 【事前学修:25分】・事前に配布したチェックリストを読んでくる ・教科書p98「水平移動」、p100「上方移動」、p103「仰臥位から側臥位」を視聴する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/2 月 4限	【授業内容】活動・休息援助技術(車椅子)(ストレッチャー) ・相手の反応を確認しながら、安全な移動の援助が実施できる 【関連するSBO】17、23 【事前学修:25分】・事前に配布したチェックリストを読む ・教科書p116「車いすへの移乗(仰臥位から端坐位)、p120「車いすへの移乗(端坐位から車いす)」、p130「ストレッチャーへの移乗」を視聴する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/23 月 4限	【授業内容】食事の援助技術(食事介助)(口腔ケア) ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた食事介助および口腔ケアの実施ができる 【関連するSBO】20、23 【事前学修:25分】・事前に配布したチェックリストを読む ・講義で説明したWeb Classの動画、教科書p175「口腔ケア(ベッド上、全介助で行う場合)」を視聴して演習に臨む 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/30 月 3限	【授業内容】技術試験 ・これまで学んできた看護技術の中で、指定した看護技術を原則に基づき、実施することができる 【関連するSBO】6、10、23 【事前学修:40分】・指示された課題の自主練習を行う 【事後学修:10分】・フィードバックされた内容を見直す	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
6/30 月 4限	【授業内容】技術試験 ・これまで学んできた看護技術の中で、指定した看護技術を原則に基づき、実施することができる 【関連するSBO】6、10、23 【事前学修:25分】・指示された課題の自主練習を行う 【事後学修:25分】・フィードバックされた内容を見直す	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
7/7 月 3限	【授業内容】生体機能管理技術(バイタルサイン) ・バイタルサイン(体温・脈拍・血圧・呼吸)の測定を正確に実施できる。 【関連するSBO】22、23 【事前学修:25分】・「看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント」p34バイタルサイン測定の流れ、p42腋窩での体温測定、p58脈拍測定、p69血圧測定聴診法、p73血圧測定触診法、p80呼吸測定について掲載されているQRコードを読み込み、動画を視聴する ・事前課題用紙にバイタルサイン測定の根拠・留意点を記載する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
7/7 月 4限	【授業内容】生体機能管理技術(バイタルサイン) ・バイタルサイン(体温・脈拍・血圧・呼吸)の測定を正確に実施できる。 【関連するSBO】22、23 【事前学修:25分】・「看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント」p34バイタルサイン測定の流れ、p42腋窩での体温測定、p58脈拍測定、p69血圧測定聴診法、p73血圧測定触診法、p80呼吸測定について掲載されているQRコードを読み込み、動画を視聴する ・事前課題用紙にバイタルサイン測定の根拠・留意点を記載する 【事後学修:25分】・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菑蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえるvol.1 基礎看護技術 第2版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2024
教	看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント 第1版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2019
参	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第3版	任和子、井川 順子	医学書院	2021

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】

筆記試験70点(多肢選択、穴埋めと記述)と技術試験・演習への取り組み30点の合計100点とする。

*技術試験は評価表(ルーブリック評価)に基づき評価する(配点30点)

*演習への取り組みは、以下の内容とする

・演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1回につき1点減点。

・最終期限までに課題の未提出がある場合、1回につき3点減点。

・演習では援助者として必要な身だしなみの準備(指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等)が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も4回以上不適切な準備が見られた場合は3点減点。

【形成的評価】

・各回の講義・演習において「自己評価と振り返り」を行い学修の成果を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・Googleフォーム、SlidoなどのICTを活用して、授業の感想・意見・質問を確認し、必要時フィードバックをする。

・技術到達度の確認は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

・演習後の質問の回答、課題の解説をWebClassに掲載する。

<その他>

・本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。

・演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、教科書に掲載されているアプリを活動した動画、“eナーstreinerの動画、“WebClassにあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。

・演習の概要(演習計画)はWebClassにアップするので、印刷物が必要な場合、各自ダウンロードして印刷すること。

・各演習ではグループ間もしくは学生ペア同士で看護師役と患者役を経験し、アセスメント技術の修得と共に患者の立場から必要な配慮の理解を深める。看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。

・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 基礎看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン(DELL New Inspiron 15(5515))	1	講義
演習	ベッド・シーツ類・折りたたみカート	24	全項目共通で使用
演習	グリッターバグ	12	手指衛生
演習	ロンボ ポジショニングピロー導入セット5種類(6個)	12	体位変換、食事介助
演習	ストレッチャー	2	移乗・移送
演習	車椅子	12	移乗・移送
演習	電子体温計	24	生命徴候の観察
演習	アネロイド血圧計	24	生命徴候の観察
演習	パルスオキシメーター	10	生命徴候の観察